

早稲田大学

AEON TOWA リサーチセンター

2022年度シンポジウム

2023年 **1月19日** (木) 13:00~17:30



開催挨拶 (予定)

岡田元也 (イオン環境財団理事長)

田中愛治 (早稲田大学総長)

報告とディスカッション

「社会デザインのきっかけとなる里山」

寄附講座「サステナブルコミュニティ論」を中心に展開してきた新しい地域と里山の捉え方の学びを中心に、学生たちが地域で取り組んだ活動などを報告し、視察先自治体などの関係者と持続的な社会デザインについて考える。

「共に育つきっかけとなる里山」

カリキュラム等を通じて、大学生とイオンビープルが共に学ぶ「共育」を試行してきたが、その成果について報告し、多世代共創の学び、対話やディスカッションの必要性を考える。

「課題解決のきっかけとなる里山」

その他の連携活動、研究活動を通じて、AEON TOWA が里山の可能性をどう捉えているか。人間と自然、地域・国際・平和など広い視点での議論を行う。

閉会挨拶

小野田弘士 (早稲田大学環境総合研究センター所長)

早稲田大学大隈講堂

ZOOMウェビナー・現地ハイブリッド開催
参加費無料・事前登録制

現地参加の方もウェビナー登録をお願いいたします。

主催 早稲田大学環境総合研究センター
AEON TOWA リサーチセンター

共催 公益財団法人イオン環境財団

問い合わせ aeontowa@list.waseda.jp

多世代で語る 共に育つ里山

～里山教育プログラムからみた現在と未来の里山～



https://us02web.zoom.us/join/97a1xDsSP0IZVEw-V6o_g

現地参加の方もウェビナー登録をお願いいたします。
感染状況によっては現地参加をお断りする場合があります。

写真：松江市宍道ふるさと森林公園 イオン環境財団の植樹